

日々の授業で培った働く力を社会でも発揮できるように、高等部3年間で5回の現場実習を計画しています。

1) 実習の目的

職場での体験を通じて、社会人としての資質や能力を身につけ、自分の適性を知る。

2) 実習期間

高等部1年生（体験的）	男子10人 女子7人 計17人	参加人数
第1回	令和8年2月2日（月）～ 2月6日（金） 5日間	原則1人
高等部2年生（体験的）	男子6人 女子3人 計9人	参加人数
第1回	令和7年6月19日（木）～ 7月2日（水） 10日間	原則1人
第2回	令和7年11月19日（水）～ 12月3日（水） 10日間	原則1人
高等部3年生（就労目的）	男子10人 女子5人 計15人	参加人数
第1回	令和7年6月16日（月）～ 7月4日（金） 15日間	原則1人
第2回	令和7年10月1日（水）～10月15日（水） 10日間	原則1人

3) 報酬・通勤費

学校教育の一環として行うものなので、一切ご遠慮します。

4) 昼食・交通費

保護者が負担します。

5) 通勤

保護者の責任において事前に練習しています。

6) 事故への対応

実習中の事故については、本人や学校の保険で対応します。

7) 実習日誌の記入

生徒が出勤時に日誌を提出します。家庭での様子や反省等をご覧ください。必要に応じ特記事項や家庭への連絡等を記入し、退社時までにお渡しください。

8) 実習の流れ

内 容	時 期	連絡・訪問者	備 考
①電話連絡	実習の1ヶ月前まで	進路担当	・実習可否の確認連絡 ・訪問日時の調整
②打合せ	実習の1ヶ月前まで	進路担当	・生徒情報の伝達 ・書類（仮依頼文書）や実習内容の確認
③事前挨拶	実習の1週間前まで	実習生 担任、保護者	・生徒ファイルの提示・説明、生徒より実習について質問 ・巡回日時の確認や必要に応じて仕事現場を見学
④初 日	実習の初日	担任、保護者	・実習開始時間に保護者が同行、挨拶 ・担任が同席できない場合は、時間をずらして訪問
⑤中 日	実習期間の中間	担任	・担任が訪問し、仕事の様子を見学し、その場で改善点を伝えたり、支援内容を確認したりする ・1年生の実習は中日を省略
⑥最終日	実習の最終日	担任、保護者	・担任、保護者で訪問し、実習生と共に評価をもらう（反省会） ・生徒ファイルの回収、書類について確認